

令和7年度

## 第3回 花泉地域学校運営支援協議会

期日 令和8年2月17日(火)

9:30~11:30

場所 一関市立花泉小学校

### ◎本日の日程

開会行事 9:30~ 9:40

授業参観 9:40~10:10

協議会 10:10~11:30

### 次 第

進行 事務局(中学校副校長)

- 1 開会(副会長)
- 2 会長挨拶
- 3 報告・説明
  - ・令和7年度の学校運営支援協議会について(ふりかえり)
  - ・令和8年度学校経営方針(案)について
- 4 協議
  - (1) 令和7年度教育活動について
  - (2) 令和8年度学校経営方針(案)について
    - ・まなびフェスト
    - ・働き方改革アクションプラン
  - (3) グループ協議「今後の花泉地域学校運営支援協議会のあり方」
  - (4) 令和8年度花泉地域学校運営支援協議会委員の選出について
- 5 その他
- 6 連絡
- 7 閉会(副会長)

## 花泉地域学校運営支援協議会委員および事務局員

役職	氏名（敬称略）	備考
会長	小野寺 満	花泉中学校同窓会長
副会長	熊谷 貴典	花泉小学校PTA会長
	佐々木 茂伸	花泉中学校PTA会長
委員	金野 陸男	地域協働体連絡協議会会長
	佐藤 光吾	花泉町民生委員児童委員協議会会長
	阿部 文聡	地域市民センター長代表
	佐藤 忍	花泉小学校PTA副会長
	小岩 智	花泉中学校PTA副会長
	佐藤 健三	花泉退職教師の会代表
	橋本 ゆかり	県立花泉高等学校長
	菅原 美穂	一関市役所花泉支所地域振興課
	高橋 飛鳥	会社員
	千葉 琢磨	農業
	渡邊 淳子	自営業
	門田 徹	花泉小学校校長
事務局	小岩 類	花泉小学校副校長
	佐藤 拓史	花泉中学校校長
	阿部 寿春	花泉中学校副校長

### 学校運営支援協議会設置の目的

急激な社会の変化に伴い、学校と地域を取り巻く課題はますます複雑化、多様化している。学校では、不登校児童生徒数の増加、特別な配慮を要する児童生徒の増加など、多様な児童生徒及び保護者等への対応が必要な状況となっている。地域においても、人口の減少や家族形態の変化、価値観やライフスタイルの多様化等により地域社会における支え合いやつながりが希薄化することによって、地域社会の停滞や教育力の低下などが指摘されている。

本協議会は、学校及び地域住民・保護者等が、「子ども達の未来が、この地域の未来」という理念を共有し協議することにより、学校と地域住民等の信頼関係を深めることをもって、学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組むとともに、地域全体の活性化や絆の教科に貢献しようとするものである。

- 将来、花泉地域を担っていく児童・生徒たちが、自分たちが暮らす地域の良さに気づくことができるような、小・中学校での学びの機会を準備したい。
- 幼児期から高等学校までの花泉地域の児童・生徒に関わる団体（PTA、市民センターによる教育振興運動、地域共同体）が連携することで、地域を活性化する一助となつてほしい。

## 報告

令和7年度の学校運営支援協議会について（ふりかえり）

### 第1回

(1) 役員と組織を確認してスタート。

(2) 今年度の学校運営について

- ・「まなびフェスト」は生徒たちの意見を取り入れたか？
- ・支援学級の生徒が増加している現状からインクルーシブ教育の導入の必要性があるのではないか。
- ・生活や総合の時間を活用し、子どもたちの地域での体験的な学びを多く取り入れてほしい。
- ・花泉小 PTA 会長から、花泉全地域住民を巻き込んだ「みんなの運動会」の実施案が提示され、6月7日の午後から開催について共有した。市民センターや地域振興課の協力を得ながら、地域一体型の行事として期待したい。
- ・11月20日に花泉高校の探究活動の発表会を花中体育館で開催。中学生だけでなく小学生や地域住民、マスコミ等にも参加を呼び掛け、多くの学びを多くの人と共有していきたい。

### 第2回

(1) 教育活動中間報告について

- ・小学校の居間8ルールのように、中学校でもそのようなルールはあるのか。  
→中学校でもルールがある。
- ・小学校で教科担任制を取り入れはじめて効果的であることは分かるが、学級経営がやはり大事になってくると思うので、生活指導面での情報共有等が大切になるのではないか。  
→複数の目（教員）で児童に係り、チーム花小で生活指導面も対応しており、いじめが減少していることもその効果の一つと考えられる。
- ・18:00～7:30は電話対応をしないということは、裏返せば、時間外の電話対応をすることになり、働き方改革に逆行しているのではないか。  
→保護者の勤務時間や学校から家庭に連絡をとることも考慮すると、おおむねこのような時間にならざるを得ない。
- ・中学校での小火についてどのような対応をしているか各家庭に伝えてほしい。  
→学校が考えている以上に保護者が心配していることを知り、配慮に欠けていた。  
小火後、学校としては、安全管理の徹底と火災を想定しての避難訓練等を実施し、1回目の避難訓練よりも多くの生徒が真剣に取り組んだ。
- ・中1の2クラスを来年度は3クラスにできるように教育委員会とも協議してほしい。  
→中学校としては、今年度も加配をいただいている。来年度も一人でも多くの加配をお願いしているところである。

(2) 「児童生徒の健全育成に向けて地域が主体となってやってみたいこと」

- ・お仕事フェスの開催（花泉地域の事業所に学校にきてもらい出店、見学や手伝いを体験することで将来の仕事の選択肢が増やすことができる）
- ・講演会の企画を増やし、保護者と教員が子育てについて学ぶ機会を増やす。
- ・四世代が集まってできる花火大会や餅つき大会の実施。
- ・みんなの運動会の継続と地域行事へ多くの児童生徒が参加できる体制づくり。

(3) その他

- ・小学1年生の黄色い帽子を、地域協働体ごとに購入し入学祝として贈ってほしい。

# 令和8年度の学校運営について

令和8年2月17日

## 1 令和8年度の学校運営で大切にしたいこと

(1) 一花泉小学校「まなびフェスト」一花泉小学校は、こんな教育をめざしていますー

夢が花さき 知の泉わく 地域が結び合うみんなの学校

### 学校教育目標

#### 進んで考える子

- 分かってほしい気持ちをもって、学習に参加する子
- しっかり話を聴き、考えを深める子
- 意欲的に読書・家庭学習に取り組む子

#### 共に助け合う子

- 進んで気持ちの良いあいさつのできる子
- 相手の気持ちを考え、寄り添うことのできる子
- 主体的に集団活動に取り組む子

#### 元気でたくましい子

- 目標を立て、運動・体力づくりに取り組む子
- 望ましい生活習慣が分かり、実践しようとする子
- 自他の命を大切にする子

よりよいくらしをめざし創意工夫する子ども

#### 自己の考えを深める子ども

- 学習に対して「わかる」「できる」「楽しい」の気持ちを育てる授業を大切にします。
- 「話し合い・学び合い」で、友達とかかわりあいながら考えを深め、問題解決する力を育てます。
- 家庭学習の習慣づくりや読書に進んで取り組む態度を育てます。

#### 相手の気持ちを考え行動する子ども

- 自分から進んで「気持ちの良いあいさつ」を目指します。
- 「ルール・約束」をみんなで決めて、みんなで取り組むよさを実感させます。
- 学校行事や、学年・学級の取組に進んで参加する気持ちを育てます。

#### 心身の健康づくりに取り組む子ども

- 運動することの良さが分かり、進んで取り組む気持ちを育てます。
- 健康な心と体を大切にする気持ちを育て、よい生活習慣の定着を図ります。
- 交通安全や災害への備えなど命を守る知識を身に付けさせ、命を大切にする気持ちを育てます。

学校・学級は、友達との学び・活動が、楽しい・ワクワクする。

- ◆ 家庭学習の場所・時間等の環境を子どもと話し合って整えます。
- ◆ 読書に進んで取り組むよう声を掛けます。

- ◆ 地域の人達ともあいさつができるよう家族で取り組みます。
- ◆ 地域の行事や子供会活動に進んで参加させます。
- ◆ スマホ等には親が責任をもち、「居間8ルール」を守らせます。

- ◆ 早寝・早起き・朝ごはん、歯磨き・手洗い等の健康を守る習慣を身に付けさせます。
- ◆ 交通安全や生活安全等の命を守る行動を身に付けさせます。

家庭・地域は、安全・安心・ホッとします。

## (2) 大切にしたいこと

- ① 今後、数年先までの花泉小学校を見据えて、よりよい学校の在り方を考えていきます。
- ② 今、求められている学力に焦点を当てた授業を行っていきます。
- ③ 花泉地域の「ひと・もの・こと」に触れ、地域のよさを学ぶ機会を増やしていきます。
- ④ 学校・保護者間の連携・情報共有のよりよい在り方について検討していきます。

## 2 令和8年度の主な学校行事について

以下の表は現時点での予定です。今後、岩手県・一関市教育委員会の年間計画が示された後に変更の可能性があります。

1 学期		2 学期		3 学期	
4/7 火	始業式、2～6年 登校日	8/26 水	2学期始業式	1/12 火	3学期始業式
4/8 水	入学式、1・6年 生登校日	9/10 木	5年宿泊学習 (～9/11日)	2/3 水	R8年度入学児 一日入学
4/18 土	参観日、PTA総会、 学年・学級懇談会	9/16 水	自由参観日	2/13 土	参観日、懇談会
5/23 土	運動会	9/29 火	R9年度入学児 スクリーニング 検査	3/18 木	修了式
6/24 水	陸上記録会 (5・6年)	10/17 土	学習発表会	3/19 金	卒業式、5・6年 生登校日
7/21 火	期末個別面談 (～7/23日)	11/5 木	音楽発表会(4年)	3/23 火	離任式
7/24 金	1学期終業式	11/12 木	6年修学旅行 (～11/13日)		
7/25 土	夏季休業 (～8/25日)	12/25 金	2学期終業式		
		12/26 土	冬季休業 (～1/11日)		

## 3 令和8年度の学級編成と今後の見通しについて

### (1) 令和8年度の花泉小学校児童数と学級編成

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
児童数	61(3)	77(4)	71(10)	79(10)	76(4)	86(3)	(34)	449(34)
学級数	2	3	2	2	3	3	(7)	15(7)

① 通常学級 15学級(-1)

② 特別支援学級および通級指導教室

特別支援学級7学級(知3、情2、肢1、聴1、-1)、通級指導教室1学級(ことば)

### (2) 令和9年度以降の見通し

- 入学児童数は、今後2学級規模が継続する見込み。
- 学級数もそれに従い減少し、R13年度には全学年2学級。

## 4 花泉小学校での学びについて

### (1) 「聴くこと」を大切にされた協働の学び

- 学力観の転換：コンテンツ（どれだけ多く知っているか）から、コンピテンシー（知識をよりよく使えるか）へ。授業も質的に転換（脱、教師による教え込み）

### (2) 花泉の「ひと・もの・こと」に触れる体験的な学び

- 生活科の時間、総合的な学習の時間を軸として「地域を学ぶ、地域で学ぶ」、6年間の体験的な学び。年間計画、R7：作成・利用 → R8：見直し・拡充

## 5 学校保護者間の情報共有

### (1) 学校・保護者間の情報共有、ペーパーレス化について

- 学校からのお知らせや保護者アンケート、保護者からの欠席連絡等についてメール送信を活用しペーパーレス化。 → 継続
- 勤務時間外の電話対応 → 環境整備・実施に向けた保護者への周知

# 令和8年度 一関市立花泉小学校 職員働き方改革アクションプラン

～子供たちも自分たちもワクワクする学校づくりのために～

花泉小学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状	2 目 標 ・ 目 指 す 姿
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今までの経験をもとに業務を踏襲してしまうため、業務削減が十分になされていない。また、子どもたちのためという思いから削減に積極的に取り組むことができていない。</li> <li>・ 何をどれくらい、どのようにするかイメージが図られない事と共通理解するための協議時間の確保が難しい。</li> <li>・ 業務改善を行う上で保護者や地域への説明と理解が必要であるが、十分に情報発信ができていない。</li> <li>・ 時間外勤務をしている教職員が固定化している傾向にある。そのため管理職が時間外勤務の多い職員の業務見直し改善に努めている。</li> </ul>	<p>【R8年度目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員の働き方改革への意識を向上するとともに、働き方改革によって得られた時間により生活の質の向上を目指します。</li> </ul> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童への質の高い教育を持続して提供するという観点で働き方の見直しが図られている。</li> <li>・ 教職員が健康でいきいきと、児童に向き合うことができている。</li> <li>・ 教職員が業務改善に向けて積極的に提案している。</li> <li>・ 教職員が時間外勤務や退庁時刻等、時間を意識した働き方をする。</li> </ul>

## 3 目 標 ・ 目 指 す 姿 を 達 成 し て い く た め の 具 体 的 な 取 り 組 み 内 容

○教職員の健康管理		○学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員に働き方改革プランを周知し、確実に実行することで教職員の健康及び安全を確保します。</li> <li>・ 問題が起きた際は組織的な対応を行い、一人の教職員に負担が偏らないようにします。</li> <li>・ 学期に一度は個別面談を行い、教職員の心身の健康を把握するとともに適切な指導を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校行事等の内容を精選し、真に必要な観点から業務の見直しを進めます。</li> <li>・ 放課後業務の時間確保が可能な日課表とします。</li> <li>・ ICTの活用した家庭学習を勧めます。</li> <li>・ 18:00～7:30の電話には、案内メッセージで対応します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校運営支援協議会を充実させ、小中が連携した協力体制を構築し、社会に開かれた学校づくりを目指します。</li> <li>・ 働き方改革に向けた取組について、保護者や地域の方に理解していただくように周知します。</li> <li>・ 登下校の見守りや夏季休業中のプール開放などについては地域の理解や協力を得て対応します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校における業務改善の推進</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校行事等の内容を精選し、真に必要な観点から業務の見直しを進めます。</li> <li>・ 放課後業務の時間確保が可能な日課表とします。</li> <li>・ ICTの活用した家庭学習を勧めます。</li> <li>・ 18:00～7:30の電話には、案内メッセージで対応します。</li> </ul>

### 花泉小学校働き方改革プランの目標

教員の時間外勤務削減目標 ① 月平均目標：20時間

② 時間外勤務月80時間以上の教員の数 ⇒ 0人

業務の抜本的見直しや業務改善による教員の負担軽減 業務改善に取り組む件数：5件以上

教職員のウェルビーイングの確保 自分の家族のための時間又は自分自身の自由な時間を確保できているという教職員の割合：50%以上



# 令和8年度 一関市立花泉中学校 まなびフェスト (案)

## 【学校教育目標】 人間性豊かな心を持ち、たくましい実践力のある生徒

- ◇ 自ら考え、進んで学ぶ生徒 ◇ 礼節を重んじ、勤労と奉仕に励む生徒 ◇ 心身を鍛え、向上意欲に燃える生徒

### 伸ばしたい力

- 基礎・基本をもとに、根拠を持ち、考えを説明・表現する力 ○自分を律し、時と場所に合った正しい行動を選択できる力 ○健康で安全に生活するための習慣を身に付ける力
- 社会の変化を見据え、課題解決に主体的・協働的に挑む ○相手の考えや気持ち、想いを受け止める力 ○失敗や困難に直面しても、粘り強く挑戦し続ける力
- 必要な情報を選択し、場面に応じて適切に判断する力 ○他者の価値観を認め、対話を基にチームで成果を出す力 ○自分の良さを認め、負の感情も適切にコントロールする力
- 目標設定・実行・振り返りのサイクルを回しまなび続ける力 ○自らの役割に責任を持ち、地域や社会の貢献する力 ○健康な心身を基に、自分の生き方を主体的に選択する力

学校	生徒	家庭・地域
<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 「なぜ学ぶのか」という問いに対し、地域社会や将来と結びついた学習をすすめます (授業改善、学習支援)</li> <li>□ 場に応じたあいさつや返事、言葉遣いができるよう取り組みます</li> <li>□ 認め合い、支え合う心が育つよう取り組みます</li> <li>□ 面談や「自分ログ」のコメントを通じて、心の繋がりがぐりに努めます</li> <li>□ 心身の健康と安全に関心を持ち、望ましい判断ができるよう取り組みます</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 子どもの努力を認め、応援します</li> <li>□ 「おはよう」「ありがとう」「はい」というあいさつ・返事ができるよう声を掛け合います</li> <li>□ 「早寝・早起き・朝ごはん」を励行します</li> <li>□ 決めた時間に学習できるよう協力します</li> <li>□ 安全に生活できるよう、見守り、声を掛け合います</li> <li>□ 情報メディア利用のリスク、適切な使い方、ルールについて、一緒に学び考えます</li> <li>□ 町・地区行事等では、一緒に活動し交流します</li> </ul>

### 花中生の現状

- 素直な生徒が多い。納得感のある説明や明確な目標があるので、根気強く取り組む。三年生やリーダーが機能しており、行事で発揮される団結力は強力である。
- 「あいさつ」「合唱」「合唱」に加え、「清掃」への取組を大切にしたいより良い学校文化を継承しようと、責任を持って取り組む姿がある。
- 指示を素直に聞くということの反面、自ら課題を見つけ、解決しようとする主体性が課題。また、根拠を添えて論理的に話したりすることが苦手である。
- 自分の考えや感情を適切な言葉で表現できず、感覚的な行動となる傾向がある。自己理解が不十分なため、適切な距離感を持ったコミュニケーションを取ることが課題。

2 令和8年度の主な行事について (R8.2.9現在)

1学期	2学期	3学期
4/6月 始業式、 7火 入学式 9木 対面式 17金 参観日、PTA総会 27月 生徒総会 5/1金 組团结成集会 16土 運動会(振替18月) 6/13土~14日 地区中総体 (振替15月、16火) 24水~25木 期末テスト 31月~3金 2年社会体験学習 7/1水 3年上級学校説明会 1年工場見学 21火~24金 三者面談 27月 終業式	8/20木 始業式 9/1火~3木 修学旅行 9水 地区駅伝競走大会 19土~20日 地区新人戦 (振替24木) 30水 中間テスト 10/8木 学校公開研究会 21水 生徒会役員選挙 30金 文化祭開祭式 31土 文化祭 (振替2月) 11/13金 地区中文祭 20金 生徒総会 25水~26木 期末テスト 12/21月~24木 三者面談 25金 終業式	1/13水 始業式 2/3水 入学生説明会 15月 期末テスト 3/3水~4木 県立高校入試 11木 卒業式 12金 修了式

3 在籍予定生徒数

令和8	1年	2年	3年	特支(知)	特支(情)	特支(病)	計
生徒数	78	70	87	3+9+2	0+1+0	1+0+0	251
学級数	3	2	3	3	1	1	8+5

4 今後の生徒数の推移

年度	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12	令和13
生徒数	272	255	243	239	231	223	224

5 社会とつなげるキャリア教育

「なぜ学ぶのか」という問いに対し、学校内だけではなく、地域社会や未来と結びついた学習を進める。(授業の改善) ※令和8年10月8日(木)学校公開研究会

6 「総合的な学習の時間」の取組

生まれ育った花泉地域での学びや体験を通して、地域の良さを知り、感謝の気持ちを育むことにより、将来のまちづくりの中心となる生徒の育成をねらう。

- (1) 1学年「自分を知る 花泉を知る」(「自分」「職業」「ライフプラン」「上級学校」)
- (2) 2学年「花泉から学ぶ」(「職業」「社会体験」「自分の進路」、ジョブカフェによるマナー講座)
- (3) 3学年「花泉から未来へ」(「修学旅行」「花泉の未来」「進路実現」、講話(一関市の現状と課題、市のビジョン等について))

7 部活動

- (1) 令和5年度より「任意加入制」を導入。加入は推奨。
- (2) 地域展開:「学校部活動」→「地域部活動」→「地域クラブ活動」

# 令和8年度 一関市立花泉中学校 職員働き方改革アクションプラン(案)

## ～ 生活と仕事の調和を意識し、生き生きとし魅力的な教職員を目指して ～

花泉中学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状	2 目 標 ・ 目 指 す 姿
<p>【教職員の勤務状況】※令和7年の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 月45時間以上の残業者の割合：36%</li> <li>② 月80時間以上の残業者の割合：7%</li> <li>③ 在校等時刻が午後8時を超えたのべ教職員数の割合：26%</li> <li>④ 所属教職員の月平均残業時間を報告：39時間</li> </ul> <p>【働き方改革を進めるうえでの課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 負担軽減や業務改善の実感を伴う、実効性のある働き方改革への取組となっていないこと。</li> <li>・ 業務の精選が十分ではないこと</li> <li>・ 長時間勤務となる教職員が固定化している傾向があること。</li> </ul>	<p>【R8年度目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>働き方改革への意識を高めるとともに、生活と仕事の調和を意識し、生き生きとし魅力的な教職員の姿を目指す。</li> <li>○最終退勤時刻目標：最終退勤時刻の目標を午後8時とし、取り組みます。(目標とする時間外在校時間：月平均30時間以内)</li> <li>○学校における業務改善の推進目標：期末事務処理等の業務時間を確保します。</li> <li>○教職員のワークライフバランスを意識した働き方改革の推進目標：業務への充実感や健康面での安心感の向上を目指し取り組みます。</li> <li>○環境衛生委員会を定期開催し、現状の把握、課題の改善に努めます。</li> </ul>

3 目 標 ・ 目 指 す 姿 を 達 成 し て い く た め の 具 体 的 取 組 内 容	
<p>○教職員の健康管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管理職が職員の在校時間の把握に努めるとともに、随時、面談・相談を行います。</li> <li>・ 残業時間について、月30時間以内を目標とし、全教職員が意識できるよう定期に確認します。</li> <li>・ 職員会議等で取り上げ、働き方の見直しに向けた意識改革をすすめます。</li> </ul>	<p>○学校における業務改善の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員間で目指す生徒像を共有するとともに、ねらいを達成できる教育活動をすすめます。</li> <li>・ ICTにより業務の効率化を図られるよう、活用を推進します。</li> <li>・ 整備された校務支援システムを積極的に活用し、業務の効率化を図られるよう努めます。</li> <li>・ 事務処理等の時間の確実な確保となるよう、年間計画の中に位置づけます。</li> </ul>
<p>○学校及び教員が担う業務の明確化・適性化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校教育委員会と連携し、適正な人員確保となるよう努めます。</li> <li>・ 学校運営支援協議会等、地域、保護者等からの意見を参考に、多岐にわたる教育活動へ対応できる人材確保をすすめ、人的支援を拡充します。</li> <li>・ 部活動育成会と連携し、部活動の地域展開をすすめます。</li> </ul>	<p>○学校及び教員が担う業務の明確化・適性化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校教育委員会と連携し、適正な人員確保となるよう努めます。</li> <li>・ 学校運営支援協議会等、地域、保護者等からの意見を参考に、多岐にわたる教育活動へ対応できる人材確保をすすめ、人的支援を拡充します。</li> <li>・ 部活動育成会と連携し、部活動の地域展開をすすめます。</li> </ul>